

# 開発Story

## 栄養食品への明治のこだわり

乳製品製造の経験と実績で培ったノウハウを活かし、「おいしさ」と「安心」をたくさんのお客様に届けたい!

### 「食べることは命の源」、いつも責任感を感じています。(鈴木)

医療や介護の現場で、安心して使っていただくためには、常に高い品質を担保しなければいけませんので、開発チームのスタッフ全員が強い責任感をもって開発にあたっています。

### 栄養成分の充実と「おいしさ」を両立させることを目指しました。(山岸)

一般的に食品の栄養素を増やしていくと、味は悪くなりがちです。しかしメイバランスMiniカップは、栄養素の充実と同時に、お客様に続けてご利用いただくために「おいしさ」にも強くこだわって開発しています。また飲み飽きないように、味のバリエーションも8種類にまで増やしてきました。

### 長年培った品質管理と技術力があるから生み出せる「おいしさ」があるのです。(山岸)

たとえばメイバランスMiniカップのチョコレート味は「バターのようになめらかでコクのある味」を実現しています。こうした「おいしさ」を生み出すことができるのは、明治の粉ミルクや乳製品製造の長い歴史の中で培われてきた技術力によるものです。また原材料の仕入れから、流通までの徹底した品質管理のノウハウが、医療や介護の現場のお客様にも、安心して使っていただける商品をお届けする原動力になっています。



### 「常温で長期保存」はとても高いハードルでした。(鈴木)

一般的な流動食の場合、冷蔵で保存期間の短い方が、栄養成分の品質低下を防ぎやすく、おいしい商品が作りやすい。しかしメイバランスMiniカップでは、あえてむずかしい常温長期保存を実現させました。高いハードルでしたが、医療や介護の現場で毎日使うものだから、買い置き時の保管など、お客様の多様な使用シーンに対応したいという強い思いがあったからです。



明治 食品開発研究所  
栄養食品開発研究部長  
鈴木 靖徳

# 進化を求めて、理想のかたちに

食品としての栄養バランスをより向上させ、かつ使いやすいパッケージを追求しました。



「食品だから、多様化するニーズにきめ細かく対応できるのです。(鈴木)

明治ではメイバランスMiniカップのような食品としての栄養調整にこだわっています。栄養成分や味など、お客様のニーズに合わせてきめ細かく変更や対応していくことができるからです。また食品であることで、命をつなぐために必要とされる方だけでなく、栄養不足を感じている方や、健康だけれど栄養を補いたい方など、幅広く利用していただくことが可能になるのです。



明治 食品開発研究所 栄養食品開発研究部  
メディカルニュートリションG長  
山岸 正浩

お客様のユーザビリティを徹底的に考えたパッケージ。(山岸)

今回メイバランスMiniカップは、使いやすさにもこだわったパッケージに一新しました。飲んでいただく方と介助者両方のユーザビリティを徹底的に検証して、無理なく自然に持てる小型カップにし、ストローの差し口をわかりやすくしました。ストローには蛇腹をつけ、くわえたときにフィットしやすくし、さらに吸う力がおとろえた方でも吸いやすく、飲む量を調整しやすい口径(太さ)にしています。



明治 食品開発研究所  
メディカルニュートリション・グループのメンバー

これからもお客様の声に積極的に耳を傾け、寄り添うことを大切にします。(鈴木)

メイバランスMiniカップのような栄養調整食品のニーズは、急速に高まってきています。スタッフは病院や介護施設などに積極的に足を運んで、現場のニーズを自分の肌で知ることを大切にしています。これからも、食品を作り続けてきた明治だからこそ提供できる、食の楽しみやお客様の生活に寄り添える商品の開発を目標に、常に進化し続けていきたいと思っています。